

2018年3月7日

CRSの皆様

①

皆様、冬を乗り越えられましたでしょうか。お元気が活躍のほど

思います。お返事できていません。皆さまより2017年にお預り

しました支援金20万円(18万ルビ)を次の様に使わせていただきました。

お知らせいたします。

(1) シワテル郡コプラック村にあるシナカラヤン校(1~8^年)へジョウ基金50,000ルビ。
私たちが回っているこのあたりの学校にはほとんどともこの基金が入っています。(別紙を
ごらん下さい。)(写真あり)

(2) 地震で崩壊したトイレの修理に 50,000ルビ。
郡県の支援を待っていました。予算がつかず、皆様に助けいただきました。
場所はシルハニス郡ドラング村にあるジャンカル小です。(写真あり)

(3) シルワ郡マクナ・アスリット校(1~8年)に(1)と同じジョウ基金、50,000ルビ。
支給は4月中旬。支給が終わりましたらご報告させていただきます。

(4) 以前同様、バス、テーブルの支援 30,000ルビ。
要望は出ていますが、学校へ確認に行っていない。一時帰国前に行っています。
暫らくお待ち下さい。

(5) 子どもたちの怪我、病気などの支援は続いています。一部を写真でごらん下さい。
皆様の陰で子どもたちに有効な支援とすることができました。ありがとうございます。

P.T.O.

(2)

ジョー基金は別紙にありおのり奨学金の支給と分けておければと思います。
たゞ現金は支給はせん、いづい問題が起るから。別紙を讀みいたさう理解
いたさうと思ひます。基金河で利息のみ使ひ皆さまの50,000元は兩校に残ります。

とこで一つ相談です。皆さまはハイオカストレに關心はありませんか。
あさひの個人 団体におねがひしてこの5年、設置し続けに来られ、次便はその利点に
ついて説明せたいと思ひます。よろしくおねがひいたします。あゝ2018年を続けさせて
下さい。 ことなりあり。

OK Baji

ジョラ基金にご協力いただいた皆様、お元気ですか。
今日はジョラ基金について再びお知らせさせていただきます。

OK Bayo

ジョラとはネパール語で袋や、かばんを意味します。私が廻っている山奥の村々では今でもまだ貧しい。あるいは教育に対する親の無理解が主な理由で学校へ行っていない子どももたくさんいます。それが私が村に住み始めた頃とは全く様子が変わり、親の理解は昔に比べるとずいぶんよくなりました。

皆さまから預りした¹⁰10,000円を学校あるいは村のユースクラブ(ローカルNGO)などに預け、自分達の責任で月1.5%~2%に廻わしています。その利息を問題をかかえている子どもたちに支援します。奨学金制度といいます。里子と里親とマッチングさせて行方のかぎりで普通の生活。現場の差は少々異なりノ村ノに決めます。自由に決めさせて欲しいと、どこも言えます。主な理由は困っている子供が多いこと。ノ村ノにしてしまうと他の子の励みにならないこと。勉強すれば何ももたえる可能性を見せたいこと。現場の実状はとも流動的で父親がせぬり学校来なくなってしまう子、落第、転校入学してくる子、これらの事態に現場の自由にしたいと言っておきます。即対応でき。ほんとのニーズに合った手助けができるように。

どうかご理解下さい。皆さまから預りした10,000円は各学校ローカルNGOの子供達のために使われていますこと。今日はお伝えさせていただきました。なおどの学校もローカルNGOもジョラ基金の帳簿をしっかりとつけているも見せられます。頭が下がるほど。しっかりと丁寧に書いてあるのを見れば私自身もとらわれないと思います。ごまかせない。有効な支援への協力、ありがとうございます。

OK Bayo